

イノチオみらい 株式会社 様

豊橋商工会議所 第11回 環境経営賞

最優秀賞

エネルギー・資材・生産物の無駄をなくす持続可能な農業モデルへの取り組み

【表彰理由】

イノチオみらい株式会社は、農業関連事業を展開するイノチオグループに属しており、農産物の生産及び販売、農業経営者育成事業を手掛けている。2015年創業であり、翌年からミニトマトの栽培を開始し、現在は機能性表示食品「野菜で元気GABA」ミニトマトとして販売している。

同社の生産現場「イノチオファーム豊橋」は、愛知県豊川浄化センターに隣接し、農林水産省「次世代施設園芸拡大支援事業」の支援を得て、愛知豊橋次世代施設園芸推進コンソーシアム（農業・流通関連企業、農協、大学、豊橋市、愛知県）を組んで設立された。そこでは、石油燃料使用量の3割以上削減及びミニトマトの高収穫を狙い、主に、次のような環境に配慮した取組がなされている。

- ①浄化センターからの放流水熱を利用した暖房空調システム(Geo-MAX)
- ②肥料の無駄をなくす循環型養液栽培システム
- ③水分量モニタリングに基づく灌水・施肥コンピュータ制御
- ④高軒高ハウス構造とハイワイヤー誘引による高効率受光生産

これらの取組をもとに、2017年には、GLOBAL G.A.P.認証を取得している。G.A.P.とは、Good Agricultural Practiceの頭文字で、適正農業規範を示すものである。労働安全、食品安全、環境保全の三本柱で構成されており、同圃場は世界基準に適合した生産を行っている。

なお、これらの取組により、トマト1kg当たりの生産で発生するCO₂排出量は2016年度5.21kg/kgに対し、2021年度は1.94kg/kgと62.8%削減されるなど環境に配慮した生産が実現されている。

上述のとおり、最先端の技術を駆使し、排熱利用をはじめ、環境に配慮した様々な工夫を取り入れた次世代の名にふさわしい農業生産に取り組んでおり、「環境経営」として高く評価でき、更なる活動の活発化が期待できる。

以上の理由から、本事業に「豊橋商工会議所 環境経営賞 最優秀賞」を贈り顕彰する。

令和5年3月22日

豊橋商工会議所 環境経営賞 審査委員長
稻垣 隆司

